

彩時記 —さいじき—

広報誌が 新しくなりました！

私たちは考えました。

もっと「社会福祉法人のぞみ」を、地域の皆様や私たちの事を知らない方々に知っていただきたい。もっと、色々な介護サービス事業所の取り組みをお伝えしたい。もっと、老いのある生活が自然で、生きることがあたりまえであることを共有したい。

そんなもっともとの思いから、このたび広報誌の内容を一新することとなりました。

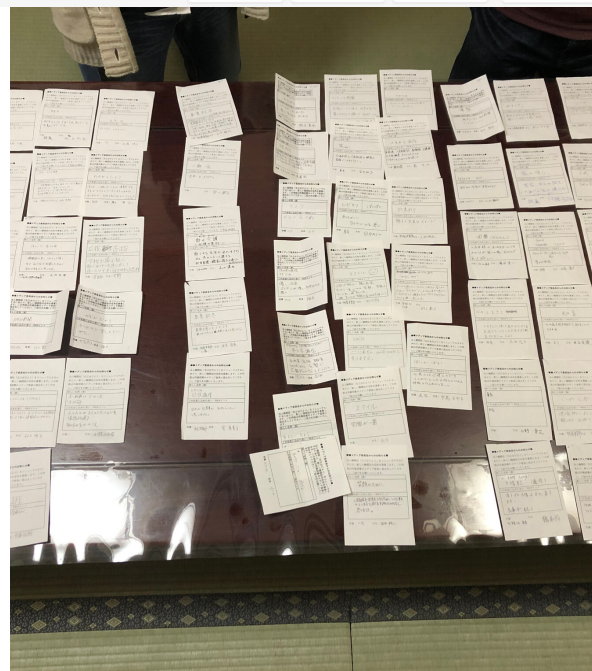
今後とも「古江台だより」改め、「彩時記」をどうぞよろしくお願いいたします。

応募数84案の 中から極撰！

新しい広報誌のタイトルを募集したところ、職員から84案もの応募がありました。

事業所の名称に花や色を使った名前が多い法人なので、古来より日本の季節毎の風俗や行事、動植物についてまとめた書物『歳時記』から「歳」を「彩（いろどり）」に変更し、『彩時記』と命名しました。その名の通り、個性豊かで色とりどりの職員が織りなす“とりくみ”の数々を発信していきたいと思います。

発案の職員にはカフェ liten iycka から、カフェのフードメニューサービス券が進呈されました。



広報誌 第83号
2020年4月13日発行
発行元：社会福祉法人のぞみ
池田市古江町18-2

祝 2020年度 入職式

新卒3名を含む
13名の新しい仲間
が入職しました！



五月山の桜も満開となり春の到来を告げるころ、社会福祉法人のぞみでは爽やかな13名の新入職員を迎える事が出来ました。

不安な社会情勢の中、簡略化して行われた入職式では、下芝理事長から辞令を受け取った新入職員が、

「ご入居者に元気を分けられるように」

「新たな気持ちで頑張りたい」

「明るさが持ち味なので、みなさんに笑顔届けたい」

など、熱く抱負を語ってくれました。

未経験で入職した職員には、「新人職員研修カリキュラム」に沿った研修を

実施し、介護職として求められる知識や技術、そしてこの仕事で一番大切な“こころ”を注入していきます。

この研修、実は「教える側」の先輩職員が一番勉強になります。新しい職員を迎えることで、よりいっそう素敵なチームを作っていきたいと思えます。フレッシュな顔をみかけましたら、ぜひ愛のムチ（笑）をお願いいたします。

新しい仲間が加わった新生「のぞみ」を、今後ともどうぞよろしくお願い致します。

訪問看護「ふじのはな」 サービス開始！

2020年1月、当法人の新規事業として訪問看護「ふじのはな」が加わりました！

医療度が高い方の在宅生活ニーズに応えるべく、現在3名の看護師が日々奮闘中。

ご自宅に伺い、体調管理や医療処置、介護相談に応じ、ご利用者の在宅生活を支援します。

池田市、川西市在住の方を対象に

9：00～17：00（土・日・祝 休み）

ご利用いただけます！



左から稲木さん、廣畑さん、向川さん

出張！出前講座

誰でもできる 家の中での 体力づくり！！

地域の憩いの場「ふらっとイケダ」にて出前出張講座を開催しました。なんだか気が乗らないなあ～、肩カチカチ～など思いついたその時、すぐにその場で、さあ体操しましょう！！

講師は古江台ホールの理学療法士 中原麻里さん。地域の皆さんに楽しく長続きできる体操を伝授いたしました。



昨年4月から、ベトナムより二人の留学生を受け入れ、介護職としてご入居者の支援させていただいています。月曜日から金曜日まで語学学校で勉強し、午後3時から古江台ホールで勤務。休みの日は奈良や京都へ遊びに行ったり、日本語技能検定合格を目指し、自宅で勉強しているそうです。

★好きな食べ物： お寿司・焼肉

★ベトナムでぜひ食べてほしいもの：
ボンチャー・フォー（しゃぶぱい麺類）

親元を離れ遠い異国の地で、頑張っている素直で熱い瞳をした若きお二人に、皆様のエールをよろしくをお願いします。

古江台ホール 地域での取りくみ

—生活支援体制整備事業—

池田市社会福祉協議会が主体となり、地域づくりの話し合いをする「協議体」の生活支援コーディネーターとして、当法人の浦部俊之（さくらそうデイサービス 相談員）が活動しています。このコーディネーターは各地域包括より1名選出されます。

住民が主役となった助け合い活動を推進するため、地域の課題を発見し、解決に向けて話し合う場です。急激な超高齢社会到来のため、地域づくりは喫緊の課題です。地域で住民同士がつながりを持ち、『お互いさまの助け合い』の輪を広げていくことで、支援や介護が必要になっても、地域社会の中から切り離されることなく、なじみの関係を維持できる。「協議体」はそんなきっかけを作る場でもあり、池田市の社会資源を把握、発掘に取り組んでいます。

ベトナムから留学生を 受け入れています

日本語もメキメキ上達！
漢字の読み書きも



{左} グエン・ティ・クイン・チャンさん
{右} チャン・ティ・ズンさん



18床
増床決定

2021年春「東館」OPEN

特別養護老人ホーム 古江台ホール

定員：18名（1ユニット9名×2フロア）

住み慣れた街で、最期まで
ありふれた「日常生活」を

この度、池田市の事業者選定を受け「古江台ホール」18室の増室が許可され運びとなりました。これに伴い、2021年春のオープンを目指し、敷地内に新たに「東館」の増築工事を行うことになりました。私たちは、誰もが、認知症や病気を得ても「ありふれたその人らしい日常生活」を、慣れ親しんだ我が街・我が家で人生最期の日まで安心して送りいただけるよう支援してまいります。

それぞれの生活習慣を
大切にご支援します

“ユニット型”の特養は、個々の生活習慣や日課を尊重し、支援するために作られたケアの様式です。ただ単に介護を受けただけの存在ではなく、主体的に自らの暮らしを営んで頂きたい。その思いを実現できるよう努めてまいります。



お問い合わせ

特別養護老人ホーム古江台ホール

特養事業部： 西久保・諫山

☎ 072-754-6541